

PCT/JP 2004/012574

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

08.09.2004

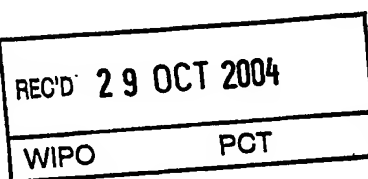
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 9 月 3 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 3 5 1 3 3 1
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 3 5 1 3 3 1]

出 願 人 葛 生 幹 夫
Applicant(s):

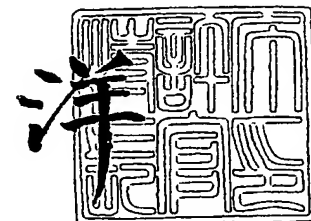


PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 4 年 1 0 月 1 5 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願
【整理番号】 MIKU196
【提出日】 平成15年 9月 3日
【あて先】 特許庁長官 殿
【発明者】
 【住所又は居所】 栃木県栃木市大宮町 2 5 8 4 番地
 【氏名】 葛生 美樹
【特許出願人】
 【識別番号】 500546570
 【住所又は居所】 栃木県栃木市大宮町 2 5 8 4 番地
 【氏名又は名称】 葛生 美樹
 【ファクシミリ番号】 0282-28-0716
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

【国際特許分類】
【発明の名称】 マスカラ等のブラシ
【請求項の数】 4

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】

円又は楕円等の輪状のブラシ毛を作り、ブラシ毛の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛をブラシ軸に埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシ。

【請求項 2】

円又は楕円等の輪状の第一のブラシ毛を作り、第一のブラシ毛の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第一のブラシ毛をブラシ軸に埋め込み、第一のブラシ毛の内側に円又は楕円等の輪状の第二のブラシ毛を作り、第一のブラシ毛をブラシ軸に埋め込んだ内側に第二のブラシ毛をブラシ軸に埋め込み、且つ第一のブラシ毛の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第二のブラシ毛をブラシ軸に埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシ。

【請求項 3】

円又は楕円等の輪状のブラシ毛を作り、ブラシ毛の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛をブラシ軸に埋め込み、複数の真っ直ぐなブラシ毛をブラシ軸に埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシ。

【請求項 4】

円又は楕円等の輪状の第一のブラシ毛を作り、第一のブラシ毛の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第一のブラシ毛をブラシ軸に埋め込み、第一のブラシ毛の内側に円又は楕円等の輪状の第二のブラシ毛を作り、第一のブラシ毛をブラシ軸に埋め込んだ内側に第二のブラシ毛をブラシ軸に埋め込み、且つ第一のブラシ毛の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第二のブラシ毛をブラシ軸に埋め込み、複数の真っ直ぐなブラシ毛をブラシ軸に埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシ。

【書類名】明細書

【発明の名称】マスカラ等のブラシ

【技術分野】

【0001】

本発明は化粧品のマスカラ等のブラシに関する技術分野。

【背景技術】

【0002】

従来のマスカラブラシにおいて、ブラシ毛にマスカラ墨を多く付着させる方法として、マスカラ毛を凹凸に加工する（例えば、特許文献1参照。）がある。

【特許文献1】 特開2002-129477号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

マスカラブラシにおいて、ブラシ毛に付着するマスカラ墨の量を多くして、睫に多くのマスカラ墨を優しく撫でるように塗布して、手早く、簡単に、奇麗にマスカラ墨を睫に塗布できるようにする。

【0004】

マスカラブラシのブラシ毛において、直線のブラシ毛では、ブラシ毛の先端が外側に存在するので、ブラシ毛の外側先端が角張って、ブラシ毛を睫に柔らかに撫でる事が出来ない。ブラシ毛に付着するマスカラ墨の量を多くするため、直線のブラシ毛の本数を多くすると、更に、ブラシの先端が角張ってしまい、ブラシ毛を睫に柔らかに撫でる事が出来ない。

【0005】

特開2002-129477号公報のブラシ毛では、ブラシ毛にマスカラ墨を付着させるのは簡単であるが、ブラシ毛に付着させたマスカラ墨を剥離し、そのマスカラ墨を睫に付着させるのは大変に困難である。

【課題を解決するための手段】

【0006】

マスカラのブラシ毛において、ブラシ毛を円又は楕円等の輪状に作り、ブラシ毛の円又は楕円等の輪状は2次元の平面曲線または3次元の空間曲線であり、ブラシ毛の平面曲線または空間曲線の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛をブラシ軸に埋め込む。

【発明の効果】

【0007】

円又は楕円等の輪状のブラシ毛に膜状になって大量のマスカラ墨が付着するので、大量のマスカラ墨をブラシ毛に塗布することができ、睫がブラシ毛に付着したマスカラ墨の膜を破るので簡単に大量のマスカラ墨を睫に塗布することができる。ブラシ毛をブラシ軸を中心に回転したときに、ブラシ毛が円又は楕円等の輪状なので、ブラシ毛の先端の角で睫を強く擦る事がなく、円又は楕円等の輪状のブラシ毛で睫を優しく柔らかに撫で、大量のマスカラ墨を睫に塗ることができ、手早く、簡単に、奇麗にマスカラ墨を睫に塗布できる。

【発明の実施するための最良の形態】

【0008】

発明の実施するための最良の形態を実施例にもとづき図面を参照して説明する。

図1において、円等の輪状のブラシ毛Aを作り、ブラシ毛Aの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛Aをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【0009】

図2において、円等の輪状のブラシ毛Bを作り、ブラシ毛Bの表面に深さが一定または深さが一定でない螺旋状の極小の溝を彫り、ブラシ毛Bの輪状の面がブラシ軸Pの長手方

向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛Bをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【0010】

図3において、楕円等の輪状のブラシ毛Cを作り、ブラシ毛Cの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛Cをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【0011】

図4において、円又は楕円等の輪状の第一のブラシ毛Dを作り、第一のブラシ毛Dの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第一のブラシ毛Dをブラシ軸Pに埋め込み、第一のブラシ毛Dの内側に円又は楕円等の輪状の第二のブラシ毛Eを作り、第一のブラシ毛Dをブラシ軸Pに埋め込んだ内側に第二のブラシ毛Eをブラシ軸Pに埋め込み、且つ第二のブラシ毛Eの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第二のブラシ毛Eをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【0012】

図5において、円又は楕円等の輪状のブラシ毛Fを作り、輪状のブラシ毛Fの一部を変形し、ブラシ毛Fの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛Fをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【0013】

図6において、円又は楕円等の輪状のブラシ毛Fを作り、ブラシ毛Gの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛Fをブラシ軸Pに埋め込み、複数の真っ直ぐなブラシ毛Gをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【0014】

図7において、円又は楕円等の輪状の第一のブラシ毛Dを作り、第一のブラシ毛Dの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第一のブラシ毛Dをブラシ軸Pに埋め込み、第一のブラシ毛Dの内側に円又は楕円等の輪状の第二のブラシ毛Eを作り、第一のブラシ毛Dをブラシ軸Pに埋め込んだ内側に第二のブラシ毛Eをブラシ軸Pに埋め込み、且つ第二のブラシ毛Eの輪状の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、第二のブラシ毛Eをブラシ軸Pに埋め込み、複数の真っ直ぐなブラシ毛Hをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【実施例1】

【0015】

発明の実施例を図面参照して説明する。

図1において、平面曲線の円の輪状のブラシ毛Aを作り、ナイロンでブラシ毛Aを作り、プラスチックでブラシ軸Pを作り、ブラシ毛Aの平面曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 90° になるようにして、ブラシ毛Aをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【実施例2】

【0016】

図2において、ポリアミド系の合成高分子化合物でブラシ毛Bを作り、空間曲線の円の輪状のブラシ毛Bを作り、合成樹脂でブラシ軸Pを作り、ブラシ毛Bの空間曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対してに平行にして（ブラシ毛Bの空間曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 0° になるようにして）、ブラシ毛Bをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【実施例3】

【0017】

図3において、平面曲線の楕円の輪状のブラシ毛Cを作り、獣毛でブラシ毛Cを作り、

高分子化合物でブラシ軸Pを作り、ブラシ毛Cの平面曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 45° になるようにして、ブラシ毛Cをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【実施例4】

【0018】

図4において、平面曲線の円又は楕円等の輪状の第一のブラシ毛Dを作り、第一のブラシ毛Dの内側に平面曲線の円又は楕円等の輪状の第二のブラシ毛Eを作り、合成ゴムで第一のブラシ毛Dおよび第二のブラシ毛Eを作り、第一のブラシ毛Dと第二のブラシ毛Eとを同一平面に組み合わせ、金属でブラシ軸Pを作り、第一のブラシ毛Dと第二のブラシ毛Eとの平面曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 30° になるようにして、第一のブラシ毛Dと第二のブラシ毛Eとをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【実施例5】

【0019】

図5において、空間曲線の円又は楕円等の輪状のブラシ毛Fを作り、ナイロンでブラシ毛Fを作り、金属でブラシ軸Pを作り、輪状のブラシ毛Fの一部を変形して、ブラシ毛Fの空間曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 60° になるようにして、ブラシ毛Fをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【実施例6】

【0020】

図6において、平面曲線の円又は楕円等の輪状のブラシ毛Fを作り、ナイロンでブラシ毛Fを作り、プラスチックでブラシ軸Pを作り、輪状のブラシ毛Fの一部を変形して、ブラシ毛Fの平面曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 80° になるようにして、ブラシ毛Fをブラシ軸Pに埋め込み、ナイロンで真っ直ぐなブラシ毛Gを作り、複数の真っ直ぐなブラシ毛Gをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【実施例7】

【0021】

図7において、平面曲線の円又は楕円等の輪状の第一のブラシ毛Dを作り、第一のブラシ毛Dの内側に平面曲線の円又は楕円等の輪状の第二のブラシ毛Eを作り、弾力のある金属線で第一のブラシ毛Dおよび第二のブラシ毛Eを作り、第一のブラシ毛Dと第二のブラシ毛Eとを同一平面に組み合わせ、第一のブラシ毛Dと第二のブラシ毛Eとの平面曲線の面がブラシ軸Pの長手方向に対して 75° になるようにして、第一のブラシ毛Dと第二のブラシ毛Eとをブラシ軸Pに埋め込み、弾力のある金属線で真っ直ぐなブラシ毛Hを作り、複数の真っ直ぐなブラシ毛Hをブラシ軸Pに埋め込んだ、以上のことを特徴とするマスカラ等のブラシである。

【産業上の利用可能性】

【0022】

発売当初はマスカラの総売上の1%を販売できるものと考え、発売から10年後にはマスカラの総売上の10%と考えられる。総務省統計局の推計人口は平成15年3月1日概算値において、20歳から59歳までの女性が3,485万人である。3,485万人のうち少なくとも約40%の人がマスカラを睫に塗り利用すると推定できる。よって、マスカラを睫に塗り利用する女性の数は少なくとも推定1,394万人である。発売当初はマスカラの総売上の1%を販売できるものと考え、マスカラが1本1,800円で販売すると、マスカラを睫に塗り利用する女性の数、推定1,394万人のうちの1%の女性が1年間に1本購入すると、発売当初の年間売上が約2億5,000万円と推定でき、発売から10年後には年間売上が約25億円と推定できる。

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図1】実施例のマスカラ等のブラシの図。

【図 2】 実施例のマスカラ等のブラシの図。

【図 3】 実施例のマスカラ等のブラシの図。

【図 4】 実施例のマスカラ等のブラシの図。

【図 5】 実施例のマスカラ等のブラシの図。

【図 6】 実施例のマスカラ等のブラシの図。

【図 7】 実施例のマスカラ等のブラシの図。

【符号の説明】

【0024】

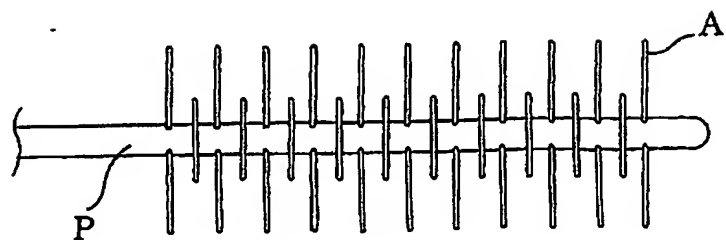
A, B, C, D, E, F: 輪状のブラシ毛。

G, H: 真っ直ぐなブラシ毛。

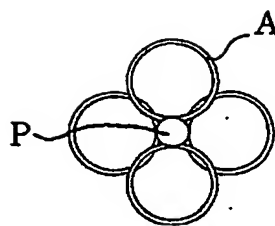
P: マスカラのブラシ軸。

【書類名】 図面

【図 1】

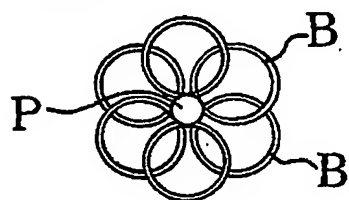


側面図



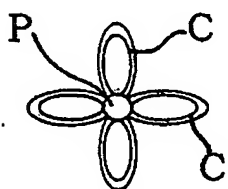
正面図

【図 2】



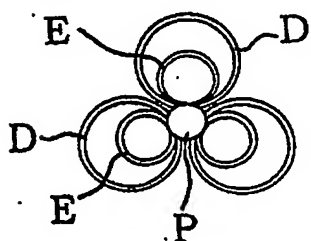
正面図

【図 3】



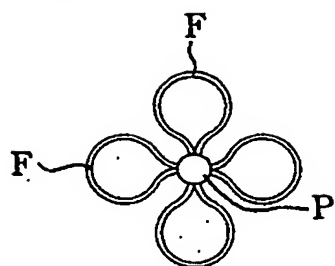
正面図

【図 4】



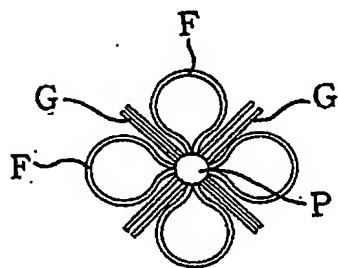
正面図

【図 5】



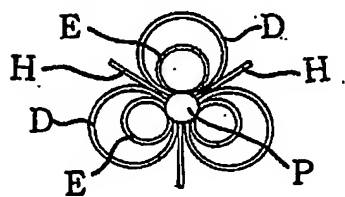
正面図

【図 6】



正面図

【図 7】



正面図

【書類名】要約書

【要約】

【課題】 マスカラブラシにおいて、ブラシ毛に付着するマスカラ墨の量を多くして、睫毛に多くのマスカラ墨を優しく撫でるように塗布して、手早く、簡単に、奇麗にマスカラ墨を睫毛に塗布できるようにする。マスカラブラシのブラシ毛において、直線のブラシ毛では、ブラシ毛の先端が外側に存在するので、ブラシ毛の外側先端が角張って、ブラシ毛を睫毛に柔らかに撫でる事が出来ない。ブラシ毛に付着するマスカラ墨の量を多くするため、直線のブラシ毛の本数を多くすると、更に、ブラシの先端が角張ってしまい、ブラシ毛を睫毛に柔らかに撫でる事が出来ない。特開 2002-129477 号公報のブラシ毛では、ブラシ毛にマスカラ墨を付着させるのは簡単であるが、ブラシ毛に付着させたマスカラ墨を剥離し、そのマスカラ墨を睫毛に付着させるのは大変に困難である。

【解決手段】 マスカラのブラシ毛において、ブラシ毛を円又は楕円等の輪状に作り、ブラシ毛の円又は楕円等の輪状は 2 次元の平面曲線または 3 次元の空間曲線であり、ブラシ毛の平面曲線または空間曲線の輪状の面がブラシ軸の長手方向に対して 0° から 90° になるようにして、ブラシ毛をブラシ軸に埋め込む。

【選択図】 図 4

【書類名】	出願人名義変更届
【提出日】	平成16年 6月 3日
【あて先】	特許庁長官殿
【事件の表示】	
【出願番号】	特願2003-351331
【承継人】	
【識別番号】	599015641
【住所又は居所】	栃木県栃木市大宮町 2 5 8 4 番地
【氏名又は名称】	葛生 幹夫
【提出物件の目録】	
【物件名】	譲渡証書 1

【物件名】

譲渡証書

譲渡証書

【添付書類】

1  236

平成16年5月30日

譲受人

住所（居所） 栃木県栃木市大宮町 2584 番地

氏名（名称） 葛生 幹夫 殿

譲渡人

住所（居所） 栃木県栃木市大宮町 2584 番地

氏名（名称） 葛生 美樹



下記の発明に関する特許を受ける権利を貴殿に譲渡したことに相違ありません。

記

特許出願の番号 特願 2003-351331

発明の名称 マスカラ等のブラシ

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2003-351331
受付番号	20401040236
書類名	出願人名義変更届
担当官	久保 美奈子 2317
作成日	平成16年 7月13日

<認定情報・付加情報>

【承継人】	申請人
【識別番号】	599015641
【住所又は居所】	栃木県栃木市大宮町 2584 番地
【氏名又は名称】	葛生 幹夫
【提出された物件の記事】	
【提出物件名】	譲渡証書 1

特願 2003-351331

出願人履歴情報

識別番号

[500546570]

1. 変更年月日
[変更理由]

住所
氏名

2003年 3月15日

名称変更

栃木県栃木市大宮町2584番地

葛生 美樹

特願 2003-351331

出願人履歴情報

識別番号

[599015641]

1. 変更年月日

[変更理由]

住所

氏名

2002年 8月 5日

住所変更

栃木県栃木市大宮町 2584 番地

葛生 幹夫